

117KOBEぼうさい委員会

メンバー大募集中!

2020年1月17日、阪神・淡路大震災は発生から丸25年を迎えます。神戸市民の4割超が震災を経験していないと言われており、当時の記憶や教訓をいかに次の世代に伝えていくかが、今の私たちに問われています。

神戸市と神戸新聞社は2014年8月、これからのまちづくりを担う大学生たちとともに、震災などの災害について学び、発信していく「117KOBEぼうさい委員会」を立ち上げました。

防災に興味がある、子どもが大好き、就活でアピールできる活動がしたい・・・
 そんな人たちを、お待ちしております!

- 参加資格**
- 防災やボランティア活動に興味のある方（専門的な知識や経験不問）
 - 新聞などのマスメディアに積極的に出たい方
 - 子ども好き、先生を目指している方…などなど
- ※学年・学科は問いません

活動内容

①防災イベントの企画立案・運営

神戸市やヴィッセル神戸、INAC神戸などと連携し、商業施設やサッカーの試合会場、音楽フェスの会場で新聞紙のスリッパやポリ袋のレインコートなど、災害時に役立つアイテムを子どもたちと一緒に作って楽しみながら防災の重要性を啓発する「ぼうさいワークショップ」を開催しています。シェイクアウト訓練や震災記念事業の企画立案にも関わり、学生独自の目線で防災について考え、広めていきます。小中学校で「ぼうさい出前授業」も行っています。



②メディアや講演会などでの広報展開

神戸新聞を中心にしたマスメディア、ぼうさい委員会のウェブサイト、SNSなどで委員会の活動を積極的にPRしていただきます。また、他大学や団体に対して委員会の活動を紹介するなど、広報活動にも携わっていただきます。

主な活動実績（2019年）

- ・東遊園地で神戸市シェイクアウト訓練の運営（2019.1.17）
 - ・神戸市内の小中学校7校で「ぼうさい出前授業」実施（2019年1月）
 - ・熊本地震の被災地訪問と交流、現地でのワークショップ（2019.2.16~17）
 - ・ヴィッセル神戸主催試合でのワークショップ（2019.3.2）
 - ・音楽フェス「BGM2」「カミングコウベ2019」ワークショップ（2019年4月~5月）
- ※毎月第2木曜日18時~20時、神戸新聞本社で学生ミーティングを行っています。

就活の面接で
 アピール
 できる!

通学定期外の交通費は全額お支払いします。昼食・夕食が必要な場合はご用意します。
 メンバーに金銭的な負担は一切お掛けしません!